

担当教員 信田敏宏				
開始時期 前期	開講期間 半期	科目番号 20DRSb02	授業形態 演習	単位 2
キーワード 開発、周縁世界、先住民		対象学年 1,2,3 学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 東南アジア文化研究特論				
科目名称：英語 Proseminar (Southeast Asian Studies)				
科目の概要：日本語 東南アジアの周縁世界と開発				
科目の概要：英語 Peripheral World and Development in Southeast Asia				
科目の目的： 東南アジアにおける開発が、先住民や少数民族が暮らす周縁世界にまで及んだ時、コミュニティや民族アイデンティティにどのような作用をもたらすのかについて考える力をつける。				
学習成果・習得する技能や知識： 文献資料の読み解き方。プレゼンテーションの仕方。議論の進め方。				
成績評価方法・基準： 出席と報告、質疑応答をもとに評価を行う。				
授業内容： 東南アジアにおける開発は、先住民や少数民族が暮らす周縁世界にまで及ぶようになり、彼らのコミュニティや民族アイデンティティに多大な影響をもたらしている。本授業では、こうした開発過程の実態を関連文献の批判的読解を通して、受講者の研究地域とも比較しながら全員で議論する。 授業の前半では、『東南アジア・南アジア 開発の人類学』（信田敏宏・真崎克彦編、明石書店）および『開発の社会史』（長津一史・加藤剛編、風響社）の中から関連する論文を読み進めながら、東南アジアの周縁世界における開発をめぐる諸問題の実態を探っていく。 授業の後半では、受講者と相談しながら開発をめぐる具体的なトピック（例えば、開発に対するコミュニティの対応、生業の変化、社会の階層化、文化的伝統の消滅、民族アイデンティティの変容、先住民運動の展開など）を絞り込み、英語文献を含む関連文献の読解を進め、本授業のテーマをさらに掘り下げていく。				
日程： 出張等日程に合わせて調整				
実施場所： 演習室				

使用言語 日本語
その他使用言語： 英語
準備学習： 特になし
関連科目・履修条件： 特になし
教科書・必読書： 『東南アジア・南アジア 開発の人類学』（信田敏宏・真崎克彦編、明石書店）、『開発の社会史』（長津一史・加藤剛編、風響社）
参考書・その他の教材： 適宜、紹介する
備考： 地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可